

令和 3 年 度

アンケート集計結果報告



小美玉市区長会

目次

I. 行政区長に関するアンケートの結果

○はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

○今回のアンケートの集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

II. 今回のアンケートの質問内容

○全区長対象アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

○若手区長対象アンケート（30代，40代）・・・・・・・・・・・・・3

III. アンケートの集計結果

○全区長対象アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

○若手区長対象アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

IV. ま と め・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

I. 行政区長に関するアンケートの結果

○はじめに

この度、小美玉市区長会では、令和3年7月28日に「小美玉市行政区アンケート調査への協力について」と題して、全120行政区へのアンケートを行いました。

全国的に、行政区への加入率は減少傾向にあると言われておりますが、小美玉市の加入率も年々減少しており、市との連携による早急な対応が求められています。

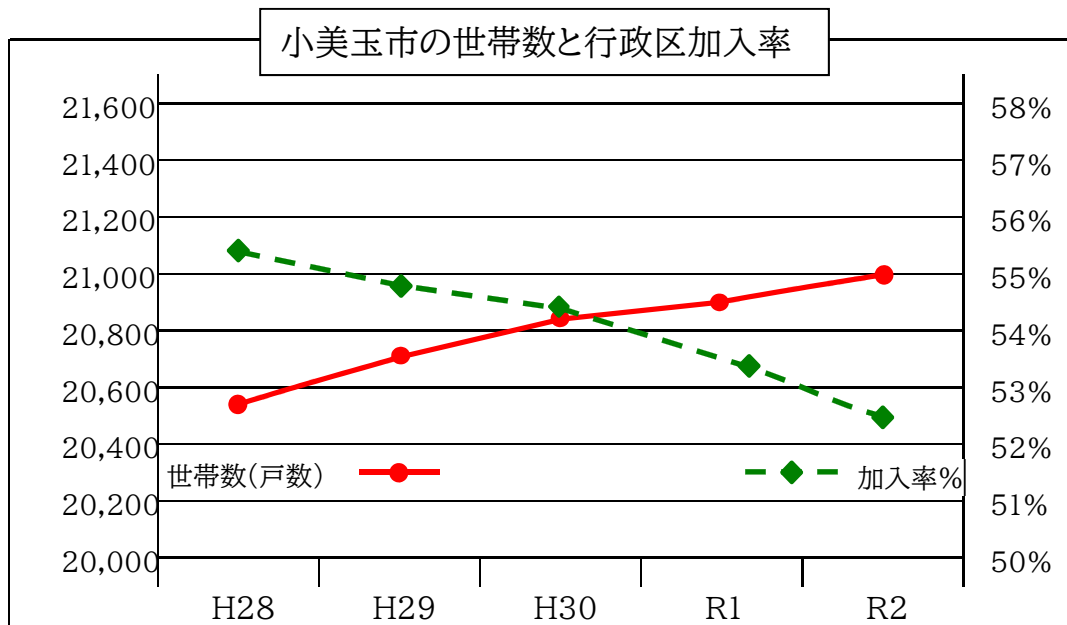
また、今回のアンケートに併せて、若手区長（30代、40代）にも区長になった経緯などについてお伺いしており、今後行政区を担っていく若い世代の感覚を理解することで、区の担い手育成及び一体感の醸成に役立てたいと思います。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、活動が大幅に制限される中ではありますが、現在の行政区が抱える課題等についてまとめましたのでご覧ください。

○今回のアンケートの集計

1. 実施期間：令和3年7月28日 ～ 令和3年8月12日
全区長対象・若手区長対象
2. 回 答：83行政区 （69.2% 行政区数120）

参考



Ⅱ. 今回のアンケートの質問内容

○全区長対象アンケート

行政区に関するアンケート

行政区名 _____

1. 区を運営している中で今一番課題として感じていることは何ですか。
(該当する欄に○をお願いします。 複数回答可)
 - ・後継者(役員)
 - ・加入者がいない
 - ・その他 (_____ 自由記述 _____)
 - ・脱退者の増加
 - ・参加者の減少(総会, イベントなど)
2. これまで区で脱退に関する相談を受けたことはありますか。 有 無
ある場合はどのような単位(例:班単位, 個人単位)及びどのような原因でしたか。
3. 現在区で行っている加入促進対策や, 脱退者防止対策はありますか。 有 無
行っている場合は, 何を行っていますか。
4. その他, 今後実施すべきと思われる加入促進策及び脱退防止策を進めるにあたり
ご意見があればご自由にお書きください。

○市の行っている加入促進対策

- ・転入時の行政区(区名, 区長名, 区長連絡先)の案内
- ・転入等情報提供所見同意書による情報提供の依頼
(転入時に本人の同意を得て個人情報の提供をお願いします。)

○若手区長対象アンケート (30代, 40代)

行政区に関するアンケート

1. 区長に就任した経緯は何ですか。 (例: 輪番制, 総会の中での互選 など)
2. 区長を引き受けようと決断した理由は何ですか。(例: 区の支援, 前区長の熱意等)
3. 区長に就任してよかったこと, 大変なことは何ですか。
4. 区に関わってよかったこと, 大変なことは何ですか。
5. 同世代(若い人)が加入しない理由は何だと思いませんか。
6. 同世代(若い人)に少しでも関わってもらうためにはどのような取り組みが必要だと思いませんか。
7. その他, 区に関わって感じたことがあればご自由にお書きください。

Ⅲ. アンケートの集計結果

○全区長対象アンケート

行政区に関するアンケート結果

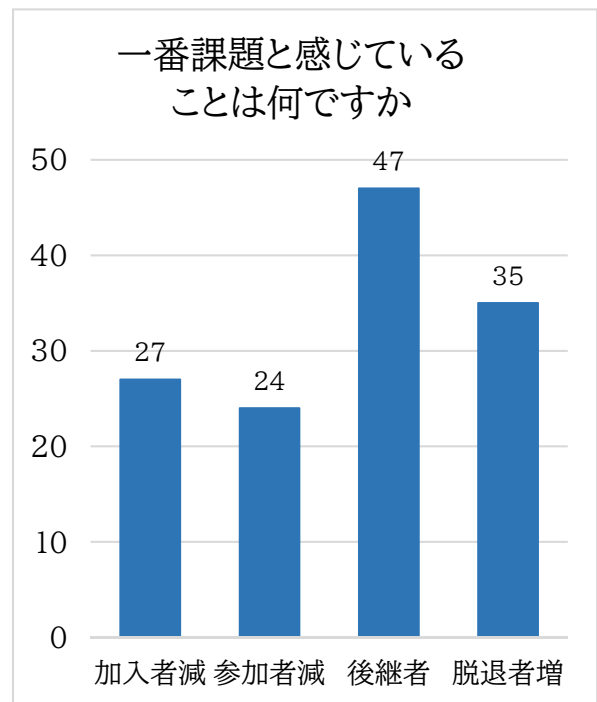
1. 区を運営している中で今一番課題として感じていることは何ですか。
(該当する欄に○をお願いします。 複数回答可)

回答総数83件

加入者がいない	27区	(32.5%)
参加者の減少	24区	(28.9%)
後継者(役員)	47区	(56.6%)
脱退者の増加	35区	(42.2%)

後継者(役員)が半数を超え、区にとっての一番の課題となっています。続いて脱退者の増加、加入者の減少、参加者の減少となっております。

運営において、人数の大小はありますが、役員は不可欠ですので、大きな課題だと考えられます。



その他 (自由記述のご意見)

回答 32区 (38.6%)

要因として挙げられていたもので多かったものから、

■**高齢化**

■**世代交代の必要性**

■**負担が多い(金銭的なもの、業務的なもの含む)**

■**区に対して無関心**

■**人口の自然減少**

などがあげられておりました。

また、上記の内容などを踏まえて、インフラ整備の不足や生活の多様化による影響から、区自体が限界集落化することへの懸念をされている区もありました。

他には、子ども会の脱会に合わせて脱退する例や、若い人は仕事があるからなど、若い世代への配慮によるものや、世代間の考え方の違いが起因することなどについてもいくつか挙げられていました。コロナ禍により、人を集められないことで、区全体の停滞感が感じられている区もありました。

2. これまで区で脱退に関する相談を受けたことはありますか。
ある場合はどのような単位(例：班単位，個人単位)及びどのような原因でしたか。

回答総数83件

相談	有	38区	(45.8%)
	無	45区	(54.2%)
単位	個人	17区	(20.5%)
	班	3区	(3.6%)

単位についての記入がなかった区でも内容的に個人での相談が多かったようです。

原因 (自由記述のご意見)

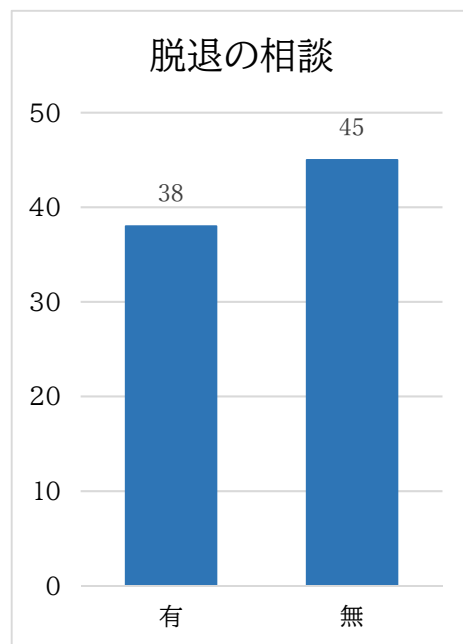
回答 46区 (55.4%)

挙げられていたもので多かったものから、

- 高齢化
- 負担が多い(奉仕作業等)
- 役員ができない
- 区費が払えない

他には、一人暮らしの親が別のところに住んでいて介護をしている、班内の個々の関係で班または、区を抜きたいなどの相談があるようです。

また、高齢となり役員の協力ができない、一人暮らしとなり区費が支払えない等複数の要因が重なり合うことにより、脱退を申し出る方が増えているようです。



3. 現在区で行っている加入促進対策や、脱退者防止対策はありますか。
行っている場合は、何をしていますか。

回答総数83件

対策	有	21区	(25.3%)
	無	62区	(74.7%)

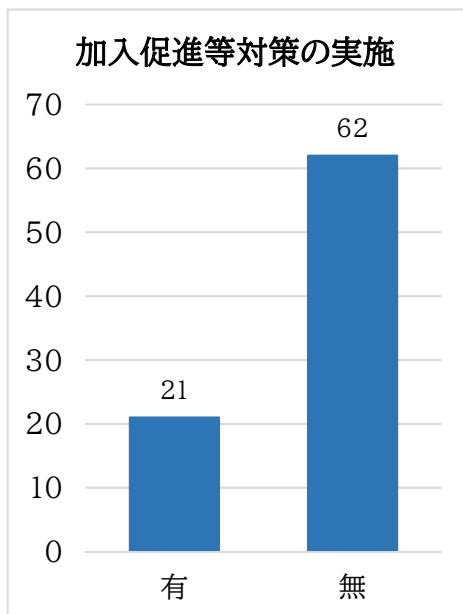
具体策 (自由記述のご意見)

回答 35区 (42.2%)

挙げられていたもので多かったものから、

- 直接加入依頼 (加入促進)
- 負担軽減 (脱退対策)

現在は、加入促進，脱退者対策に取り組むことが難しい状況です。



上記の他に、区独自の広報紙の作成や、未加入者へのパンフレット配布、役員の負担軽減のための業務分担の見直し、役員手当の支給の検討などが行われています。

4. その他、今後実施すべきと思われる加入促進策及び脱退防止策を進めるにあたりご意見があればご自由にお書きください。

○市の行っている加入促進対策

- ・転入時の行政区（区名，区長名，区長連絡先）の案内
- ・転入等情報提供所見同意書による情報提供の依頼
（転入時に本人の同意を得て個人情報の提供をお願いする。）

回答総数 49件 （59.0%）

挙げられていたもので多かったものから、

- メリット感が少ないもしくはデメリット感の方が大きく感じる。
- （区費以外の）金銭的負担が大きい。
- インターネットより，市の一定程度の情報は得られる。
- 未加入者へのごみ集積所の対応が難しい。

上記の他、

- ・生活様式の多様化による世代間の考え方の違い
 - ・区のマイナス面ばかりを見てしまっている
 - ・市の加入促進の体制強化
 - ・区費以外の負担を住民税により徴収して公平にして欲しい
 - ・高齢の方が抜けないような負担軽減策の検討
 - ・若い世代が関われるように若手の意見を取り入れる
 - ・区費により電気代を含めた色々な経費が賄われていることを知ってもらう
 - ・副次的な役割で区とのかかわりを持ち続けてもらう
- などのご意見がありました。

○若手区長対象アンケート

1. 区長に就任した経緯は何ですか

○輪番制のため

○誰もやらないから

2. 区長を引き受けようと思った理由は何ですか

○順番で決まっていたため

○若い区長がいたら面白そうと思ったから。また、今後の区長候補を探すときに歴代の区長が1年通して行っていることを文書化してみたかった。

○区長を決める年に班長だったため司会進行となり誰もが引き受ける人がいなかったため班員すべてが協力するという約束の元しぶしぶ受けた。

3. 区長に就任してよかったこと、大変なことは何ですか。

良かったこと

○区の住民に顔が売れた。

○今まで住んでいて知らなかった人と知り合いになれたことや、心から協力してくれるベテランの方がいるとわかったこと

大変なこと

○仕事との両立が大変です。平日は帰宅も遅めなため、平日夜の集まりには出席しにくい。

○区の行事やそのための資料作りが大変。メールなどをもう少し使える状況であれば助かる。

○各班長に区の連絡事項があるときは役員の連絡係に連絡するように言っても区長に直接連絡してくるため担当を決めていても区長自身が動くことがとても増える。

4. 区に関わってよかったこと、大変なことは何ですか。

良かったこと

○なし

○友達が増えた。子どもも同級生や知り合いが増えた。

大変なこと

○ごみ集積所のルールなど守るべきルールを守らない人がいると大変である。

○（区長に限らないが）各種細かい人たちへの対応は大変である。

○若い世代の考え方や合理化がベテランの方には理解されにくい。

総会についても重箱の隅をつつくような質問で時間を占有する方がいること。前区長はこうだったと新しい変化を受け入れない。

5. 同世代（若い人）が加入しない理由は何だと思えますか。

- 幸い当区では同世代も加入しています。
- 当区は割と加入は多い気がする。全体的なことでは個人のメリットの少なさ（無さ）かと思う。休日は仲間たちとの予定を優先させたいと思う。（正直に言えば自分を含めて）
- 私も含めて区に加入する必要がわからない。葬儀等はセレモニーホールで行うため近所の手は必要ない。子どものスポーツの応援や手伝い、忙しい土日出勤のため行事に不参加になりがちのため加入が迷惑をかけると思っている。区費の負担。自由にやりたい。

6. 同世代（若い人）に少しでも関わってもらうためにはどのような取り組みが必要だと思えますか。

- 仕事を持っているのが当たり前なので、仕事への影響を減らしてあげること
- 市役所の対応がどうか。例えば区の役員で市役所へ行く必要があっても土日は市役所がほぼやっていない。若い人たちは特に平等性を求めがちに気がします。区に入ったのに（役員やっているのに）土日が休みとなると、それで「いやだ。」とか「面倒だ。」と思ってしまう。人間一度嫌がるとなかなか戻ってこない気はします。
- 土日の行事の削減 行事を休んでもよいという気風の醸成
区費等の削減 募金や社協、その他もろもろの、区に加入しているだけで当たり前に取りられているお金の在り方。ベテランの方しか使用しない公民館の維持管理や修繕費や建て替え資金の積み立ての在り方。

7. その他区にかかわって感じたことがあれば、ご自由にお書きください。

- 区の中に役割分担がきちんとできていれば市からの仕事等は楽だと思える。区民の中に必ず相手にするのが難しい方々がいる。（どこにでもいると思う）そのような方々の相手をしなければいけないのが実は一番の問題かと思う。当区で役員が決まらないこともこれが理由ではないかと思う。
- なぜ区に加入する必要があるかを市が示してほしい。市で計画のクリーンデイ等は区に加入していなければ伝わりません。加入未加入で不公平がないように市は考えてください。

IV. ま と め

今回、全区長対象と、若手区長限定のアンケートを実施しました。全区長に対しては、加入促進や脱退防止のため、若手区長に対しては若手が関わりたくなる仕組みづくりのためのご意見をいただくため、また、今後関わってもらおうであろう若手世代の考えを早めに抑え、今後を見据えた取り組みを進めるために、30代・40代にしぼってアンケートを行いました。

全区長対象で行わせていただいたアンケートでは、

1. 一番の課題は何かという質問から高齢化により後継者が見つけにくく、世代交代をするにも、若い人は仕事を抱える上に、無関心な方が増えており、双方がより負担感を感じやすい状況であることが分かりました。
2. 脱退の相談があったかという質問からは個人単位での脱退相談が多いことが挙げられており、原因としては、前述の高齢であることや、仕事等で多忙なことにより、役員や作業、または金銭的負担感が強く感じられるということが脱退につながる大きな要因となっているとのこと回答が多くを占めました。
3. 加入促進対策や脱退防止対策についての質問から、加入促進は直接会って加入依頼を行っていること、脱退対策については負担軽減を検討して、できるだけ残ってもらうための工夫をしているとのことでした。現状、人と会う、もしくは会議を行うこと自体がなかなかできない状況の中で、工夫してこのような内容に取り組みいただいていることに感謝いたします。
4. 今後の対策としては、メリット感の創出、区費以外の負担が大きいこと、ネットの普及により、市の情報が広報に頼らずとも得られること、ごみ集積所の対応については、断ることで生まれる軋轢などへの心配から対応していただいている区民の皆様がより強く感じられるということが分かりました。

これら質問の全体から市内全域的に高齢化、金銭的負担や作業等による負担、メリット感よりデメリット感が強いという内容の意見が多く寄せられました。

その一方で、若手区長対象のアンケートの結果が下記の通りとなりました。

1. と2. の区長を引き受ける経緯及び理由についての質問から、区長を引き受けるにあたっての理由は、決まっていたら受けた、面白そう、協力があるなら受けるという理由で受けていただいています。

3. 及び4. の区長の就任や区に関わって感じたことから、交友関係の広がりや、ベテランの方の協力が得られたことなど、人とのつながりの温かさについてよかったと感じていただいた半面、仕事との両立や、ルールが守られない、細かい作業や対応、考え方や合理化に対する理解度に対しては世代間のずれが生まれていることにより、ご苦労されている状況が見えてきました。

次に、5. と、6. 若い人の加入しない理由や区に関わってもらうための取り組みの質問からは、メリットを感じにくいこと、休日は子育てや自己実現に時間を割きたいこと、金銭的負担が増えること、仕事への影響を少なからず感じていること、世代間それぞれの想いや考えが違うことなどを若い世代は感じており、少しずつでも受け入れていかないと世代交代を行うことは進みにくい状況ではないかということが感じられました。

最後に7. その他感じたこととして、役割分担がきちんとできていれば市からの仕事等は楽だと思う。クリーンデイ等市の行事は区に加入していなければ伝わらず、加入未加入で不公平感を感じるとのことでした。

これらのことから、若手の想いとして仕事や子育てのための時間の確保や、金銭面での負担、世代間の考え方に違いがあることへの理解をして欲しいということが多く書かれていました。

2つのアンケートから今後区が持続的な団体となるためには、

- 高齢化への対応
- 各種負担の軽減
- 世代の融合

上記3つが特に取り組むべき課題ではないかと考えました。

そのための手段の一部として下記の取り組み事例を紹介いたします。

① 区内事業（行事や会議等）の見える化

行事や会議の議事録などを可視化することによって、もし参加できなかったとしても情報共有を図ることによって、取り残される感覚がなくなり、区内の一体感が生まれます。

併せて役員業務なども可視化することにより役員交代をするにあたっても引き継ぎ資料としたり、役員就任依頼時の資料として利用したりことができ、幅広く活用が見込まれ、省力化が図られます。

② 役割の分担

役割を分担することにより、「区長は大変だ。」「役員は負担が多い。」というイメージを払拭し、常に負担がかかるような仕事を作らない、もしくは負担を最小限にするための分業をすることで、「このくらいならやってもいいか。」という感覚を持ってもらえるようにする。

そのためにもできる限り役員業務の見直しを経て、役割分担を行い、役職の負担の平準化や、過重な負担を軽減することができます。

若手区長の回答にもあった通り、協力があることは心強く感じており、区長業務が進められているところです。

③ 区費の見直し

区費の徴収については、事業内容等を基に算出されていると思いますが、従来と変わってきていることがあれば、それに合わせて見直しをしてみることも一つの手段となると考えられます。

また、市や社会福祉協議会からもいくつかの会費取りまとめをお願いしているところですが、こちらについては現在、行政区全てに対して会費取りまとめをお願いしているものを調査しており、その内容を基に区長の皆様の負担が最小限になるよう検討して参ります。

④ 地区コミュニティとの連携

現在、小美玉市内に11のコミュニティが設立されており、それぞれ小美玉市誕生当初の小学校区を基に、地域性に合わせた取り組みが行われております。

コミュニティによっては、敬老会をコミュニティ単位で行うことで行政区役員の負担軽減を図っている事例や、一行政区での取り組みが難しい防災対策や、防犯活動に取り組んでいる事例があります。

より広範囲でやることで効率化できるところと、行政区で実施することでの良さを使い分けることにより負担軽減が期待されます。

⑤ 地域の事情に合わせた見直し

上記の取り組みを行うにしても、地域の状況に合わせて取り組みを進めて行かないと、せっかくの活動も思った効果が得られないもしくは継続しないと考えられます。

現状はなかなか会議や話し合い等を行うには工夫が必要ですが、すぐ結果が出にくいもしくは、見えにくい面がありますので、ある程度の時間をかけながらも広く意見を集めて地域の一体感の醸成を図りながら取り組むことで、地域が持続的なものになると考えます。

区長会では、現在取り組んでいることをしっかりと継続しながら、市が掲げる「住んでみたい 住んでよかった これからも住み続けたい」と思えるまちづくりに向けて、皆様の貴重なご意見をいただきながら進めて参ります。

いくつかご提案をさせていただきましたが、区によって状況に違いがありますので、これからも市と行政区の協働体制で行政区活性化に努めてまいりたいと考えております。